

「土砂災害防止に私たちができること」

福岡県 行橋市立泉小学校 6年 安部 雅

最近ニュースで五十年に一度の大雨や今までに記憶にない大雨という言葉をよく耳にします。その原因は地球温暖化による不安定な太平洋高気圧の動きや、へん西風のだ行が原因だと考えられます。これらの大雨により今までに作られた防災計画では対応できないような土砂災害がおきています。国や町も防災計画を見なおして「キキクル」などのアプリを作成し対応をしています。しかし防災上で一番大切な事は、国民一人ひとりの危機意識です。私たちも学校で避難訓練をしています。が本当に大雨がふって避難しないといけない状況が起きた場合みんなどういった行動をとるのでしょうか。テレビやSNSなどで避難情報がでた場合でもすぐに行動できる人は少ないのではないのでしょうか。災害をうけた方のインタビューを聞くと「まさかこの場所が」とか「まさか私の家が」という言葉をよく聞きます。私の家は大丈夫という考えはやめて万が一にそなえる事が大事です。私も大雨や台風がきたときはテレビやインターネットの情報を注意深く取り入れ、両親と話し合い素早い行動を心がけ周囲の友だちにも注意をうながします。

地球温暖化の原因は、二酸化炭素排出量の増加が原因だと考えられています。人類は石炭やガソリンの化石燃料を使い飛行機や自動車ですべて地球を旅したり仕事のために移動をくり返してきました。これから飛行機や自動車は化石燃料から電気エネルギーや水素エネルギーの転換を求められています。私たちにできる事は使っていない所の部屋の電気を消す、見ていないテレビを消すなどの身近な省エネルギーが未来への第一歩だと考えます。

私たちが、生まれ育ってきた「行橋市」は山や海に囲まれた、美しい町です。ですが、この町の中にも、大雨の時に危険な地域や大地震の時に浸水する可能性がある地域がたくさんあります。自らの命を守り、みんなが助け合い安心安全な地域になれる様に学校で話し合っていて未来もこの町で楽しくくらししていければ良いなと希望を持っています。